安全データシート

作成日　2015年07月08日
改訂日　2015年07月08日

製 品 名：MColortestTM Carbon Dioxide Test

１．化学品及び会社情報

製品番号　：117179
製　品　名　：MColortestTM Carbon Dioxide Test (CO_2-1)
会　社　名　：メルク株式会社
住　　所　：東京都目黒区下目黒1－8－1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部/RAグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-6369-8617
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類
物理化学的危険性
引火性液体　：　区分2
健康に対する有害性
生殖細胞変異原性　：　区分2
発がん性　：　区分1B

シンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報
H225　引火性の高い液体及び蒸気
H341　遺伝性疾患のおそれの疑い
H350　発がんのおそれ

注意書き
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P210　熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙
P240　容器を接地すること/アースをとること。
P308+P313　ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
P403+P233　換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　混合物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
エタノール	60.7%	CH_3CH_2OH	(2)-202	公表	64-17-5	200-578-6
フェノールフタレイン	1.0%	$C_{20}H_{14}O_4$	(9)-1152	公表	77-09-8	201-004-7

４．応急措置

吸入した場合：
直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
多量の水で洗い流す。
医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：
刺激作用、呼吸器麻痺、皮膚炎、目まい、昏睡、酩酊、下痢、吐き気、嘔吐

医師に対する特別な注意事項：
情報なし

５．火災時の措置

消火剤：
炭酸ガス，泡，粉末

不適な消火剤：
特になし

特有の危険有害性：
可燃性物質
蒸気は空気より重く、床に沿って拡散する。
フラッシュオーバーに注意すること。
常温で、空気と混合して爆発性混合物を生成する。
火災時に有害ガスまたは蒸気を発生する。

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移し、霧状水で容器を冷やす。
消火に用いた排水による、河川や地下水の汚染を防ぐ。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
蒸気を吸い込まないように注意する。
漏出物との接触を避ける。
蒸気を吸い込まないように注意する。
熱、点火源を避ける。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。爆発性。

回収・中和等：
排水口をふさぎ、飛散した漏出物は集め、ポンプで回収する。
吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

その他：
廃棄物の処理については第13項を参照のこと。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
密閉化した設備または局所排気を用いる。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
炎、高温体、点火源との接触を避ける。
静電気の発生には注意をはらうこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

衛生対策：
Sec.8　ばく露防止措置の衛生対策　参照のこと。

保管：
容器は気密性を保つ。
乾燥状態で保管する。
換気のよい場所に保管する。
点火源、熱源を避けて保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：
設備対策：
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
関係法規に従い、十分な設備対策を行う。

衛生対策：
適切な保護具を着用し、安全に取り扱うこと。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為の処置を講ずること。

保護具：
保護眼鏡：
保護メガネを使用する。

保護手袋：
保護手袋を使用する。

呼吸用保護具：
蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

その他の保護具：
難燃性の帯電防止保護衣を着用する。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。爆発性。

その他：
保護具は、作業場所、有害物の使用量や濃度に応じて選択すること。

９．物理的及び化学的性質

形　　状	：	液体
色	：	無色
臭　　い	：	エタノール臭
密　　度	：	ca. 0.9g/cm³ (20℃)
蒸 気 圧	：	59 hPa (20℃) (エタノール)
融　　点	：	78.3℃ (1013 hPa) (エタノール)
沸　　点	：	データなし

引　火　点　：22℃
自然発火点　：データなし
爆 発 限 界　：下限　3.5 %(V)（エタノール）
　　上限　15%(V)（エタノール）
溶　解　性　：水に溶ける。

その他
発火点：425℃（エタノール）
爆発性：分類されない
酸化性：なし

１０．安定性及び反応性

反応性：
蒸気は、空気と爆発混合物を生成するおそれがある。

安定性：
通常の取扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性：
引火または可燃性ガス／蒸気を生成するおそれ:
酸化クロム(VI)、過酸化水素、六フッ化ウラン、二酸化窒素、硝酸、リン酸化物、過マンガン酸、過塩素酸、硫酸、過マンガン酸カリウム、過塩素酸塩、フッ素、エチレンオキサイド、塩化クロミル、ハロゲン間化合物、強酸化剤、アルカリ酸化物、アルカリ土類金属、アルカリ金属

避けるべき条件：
熱

混触危険物質：
ゴム，プラスチック

危険有害な分解生成物：
データなし

１１．有害性情報

急性毒性：
経口：
大量の場合：吐き気、嘔吐、下痢をおこす。
吸入：
粘膜をわずかに刺激する。
経皮：
吸収される。

皮膚刺激性：
長期のばく露は、皮膚炎を引きおこす。

眼刺激性：
わずかに刺激する。

感作性：
データなし

生殖細胞変異原性：
遺伝子異常のおそれがある。
小核試験：陽性　　哺乳動物細胞(マウス)を用いた試験（in vivo）
フェノールフタレイン
AMES試験：陰性　　ネズミチフス菌を用いた試験
フェノールフタレイン
染色体異常試験：陽性　　哺乳動物細胞を用いた試験（in vitro）
フェノールフタレイン

発がん性：
発がん性のおそれがある。

生殖毒性：
データなし

特定標的臓器毒性-単回ばく露：
データなし

特定標的臓器毒性-反復ばく露：
データなし

吸引性呼吸器有害性：
データなし

追加情報：
吸収した場合：
大量の場合：目まい、酩酊、昏睡、呼吸器麻痺をおこす。

その他：
毒性に関する量的なデータはない。
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための充分な知見はない。
適切な安全衛生規定に従って取扱うこと。

１２．環境影響情報

生態毒性：
EC50　　＞4.34 mg/l (48h)
ミジンコ（フェノールフタレイン）
EbC50　　2.5 mg/l (72h)
藻類（フェノールフタレイン）
NOEC　　0.57 (72h)
藻類（フェノールフタレイン）

残留性・分解性：
生分解性　　76% (28d) (好気性) (フェノールフタレイン)
OECD TG 301F
良分解性である。

生体蓄積性：
データなし

移動性：
データなし

PBTアセスメント：
Regulation (EC) No 1907/2006, Annex XIII に基づくPBT/vPvB の基準に適合する物質ではない。

その他：
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

作成日　2015年07月08日
改訂日　2015年07月08日

１４．輸送上の注意

国連番号 ： 1170
品名　　： ETHANOL
クラス　： 3/II

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

エタノール
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質

フェノールフタレイン
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：第2種指定化学物質　政令番号：74

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい